

宮島は、貴重な町並みが残っています。その魅力を知ってもらうため「まちなみ通信」を発行します。

令和2年4月1日号

島野伝太郎一家の

## まちなみ通信

No. 11

### 島内の伝建修理事例

建吉：今年は桜がはよ～に咲いたのお。

うみ：春は華やかで気持ちがいいわね。

マイク：桜もいいですが、3月に予定されていた伝建の見学会は中止で残念でした。町家の構造が見られると思っていたのですが……。

うみ：こればかりはしかたないわねえ。早くこの騒動が収束してほしいわね。私のお店もお客さんが少なくて売上げがさっぱりよ。



建吉：三國屋さんの見学会は中止になったが、工事中の様子をビデオ撮影しておって、騒動が落ち着いたら上映会を計画しとるらしいぞ。

マイク：えっ、ほんとですか。楽しみになってきました。

建吉：工期がかなり窮屈なんで、ちょっと手伝いを頼まれてのお。大工仕事をやらしてもらうた時に市の職員が来て撮影しよったんじゃ。

マイク：それいいですね。見たいです。

建吉：土壁の骨部分は小舞竹と板の貫なんじゃが、湿気の多いところはかなり痛みがあって、竹はボロボロのところがあったわい。

マイク：全部やり替えですか。

建吉：いやいや、痛んでおるところだけ取り除いて、そこはやむを得ずラスボード貼りにしとる。（ラスボード：塗り壁の下地材。防水や塗りやすさの加工がしてある板）小舞竹は切ったとこ

ろをビスで留めて補強しとる。

マイク：この前外だけ見ましたが、壁の補修がたくさんありました。

建吉：内側の壁は、樹脂製のネットを張って部分補強しておるところもある。ええ、補強材があるもんじゃ。監督さんがよう考えてくれとるよ。



マイク：道路側の瓦は昔のままの瓦に見えましたが、修理は見えない方だけしたのですか。

建吉：それがまたよう考えてあつてのお、瓦は全部降ろして、屋根下地は改修済みじゃ。瓦は1枚ずつ点検して使える瓦を残したんじゃ。それを道路側に葺いて、見えん方に新しい棧瓦を葺いたんじゃ。

マイク：へー、よく考えてありますね。

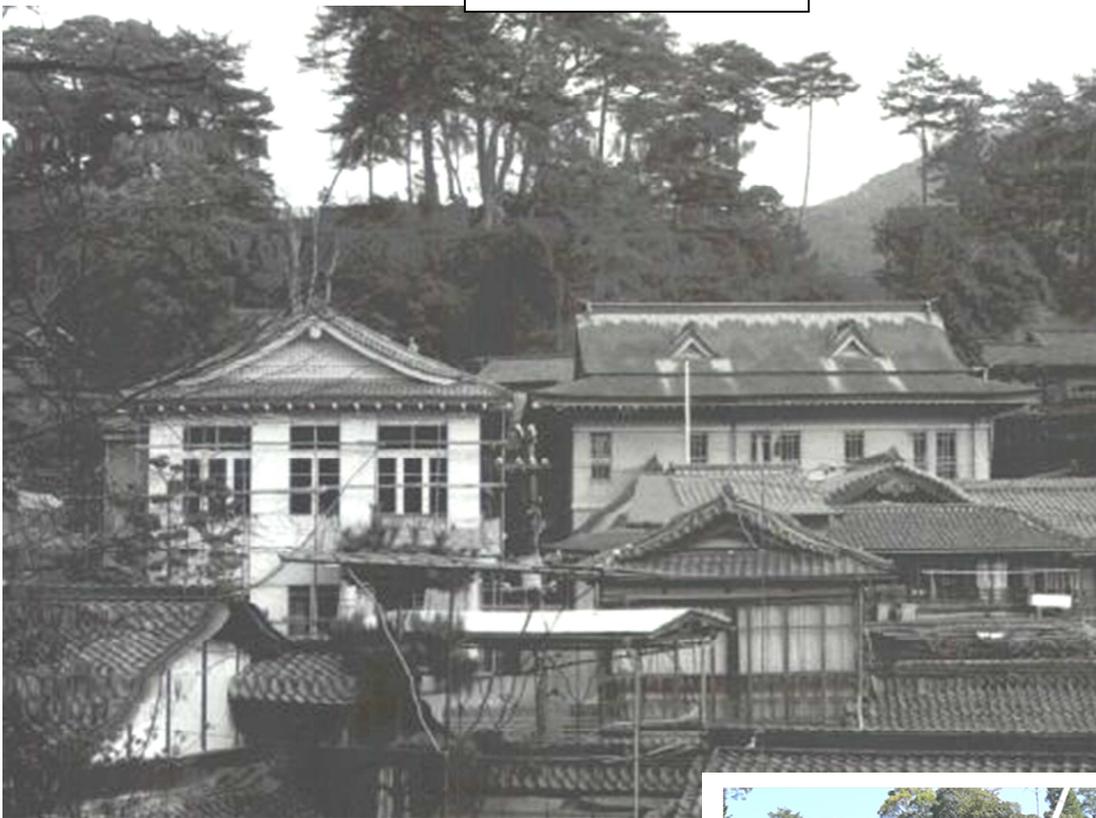
建吉：横から見るとようわかるが、一番高い棟瓦の道路側と奥側で違いが見えるけえ、気をつけてみてみい。



うみ：あらそう。私も行ってみようかしら。古い町並みを復元していくためにはいろいろとアイデアがいるんですね。



## 今昔写真を見比べて



左の写真は、昭和40年の宮島観光会館（左）と宮島町役場（右）である。昭和44年には宮島町庁舎が建設されるので、既にこの2つの建物はその時に解体されている。

（左下へ）

（右上からの続き） 前宮島町庁舎（宮島支所）は4層の建築物であったが、現在建築中の拠点施設は、3層構造で少し低くなる。屋根も分割されてイメージがかなり変わると思う。右の庁舎の手前に山本邸が見える。現在の写真でも、ほぼ変わらず残っているのがわかる。上の写真では、中央に日棚が見えるが、現在の写真ではその跡が見える。生活スタイルの変化で、撤去されたと思われる。現在の写真の左手前の建物は近年増築された建物である。

この撮影は塔の岡からであるが、撮影された建物からも五重塔や千畳閣などがよく見える位置になる。宮島の絶景スポットである。



### 建物改修の補助事業【希望者募集】

令和2年度・3年度の修理・修景等を行う事業者は補助金が活用できます。市に相談してください。

補助対象：①特定物件として保存計画に登録されている建物の外観を復元する修理工事 ②伝建区域内にある①以外の建物の外観を古い町並みに合わせた新築・改修工事

応募締切：令和2年4月20日（第1期締切）

その他：令和3年度以降の工事を検討している方もご相談ください。

### 不動産の相続手続きを済ませましょう【お知らせ】

土地や建物を所有・管理されている皆さんは、登記名義がご自分のものになっていますか？まだ、ご先祖の名義のままだと、不動産を売却するときや改修するとき、関係する相続人の方たちの承諾が必要となり、手続きが進まなくなる場合があります。相続手続きがまだの方は早めに手続きしておきましょう。不動産の登記所有者を、確認しましょう。

まちなみ通信 No.11（令和2年4月1日）発行

廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

### 職員紹介【伝建担当者】異動がありました

担当課長 係長 係員 よろしくお願ひします



清水



二宮



白水



向井



内山

令和2年5月1日号

島野伝太郎一家の

# まちなみ通信 No.12

～多様な格子のデザイン～



伝太郎: 伝建の制度が始まってから、気になっていたことがあるんだけど。町家の格子のデザインには、いろいろあるんだね。

もみじ: いろいろって。そんなにある？

伝太郎: 格子が細かったり、太かったり。格子の上の方が何本か抜いてあったりするんだ。

もみじ: そう言われると、おんなじだと思っていたけど、違う家があるわね。

伝太郎: お義父さんの家は細いのが上まで全部あるね。



親子格子 1



親子格子 2

(親子格子の例。見えにくくてすみません。)

もみじ: お隣りは、上が何本かあいているわ。確かに違うわね。太いのもあるの？

健吉: 何が太いって？

もみじ: あら、お父さんおはよう。伝太郎さんがね、「格子のデザインに違いがあるね」って話をしたの。太かったり細かったりもあるし。

健吉: なかなかよう見とるのお。その通りじゃ。

伝太郎: どれくらい種類があるんですかね。

健吉: 極端に言えば、全部の町家それぞれ全部違うかもしれないお。太さもそうじゃが、縦格子の間隔、横棧の太さ・間隔、縦横の格子の組み立て方、上部の格子の開け方、出格子になっておったり、そうでなかったり。説明したらきりが無いわい。

伝太郎: 聞いているだけではよくわからないほど種類はありそうですね。

健吉: そうじゃ。その組み合わせで違うし、1階

と2階で使う場合も違いが出るんじゃない。

もみじ: 時代によっても違うのかしら？

健吉: ええとところに気がついたのお。もともと防犯用に設置しとったけえ、太かったんじゃ。



太い格子  
(防犯用)

伝太郎: そうなんですかあ。そう言われると、昔、商売をされていた家の格子は太い気がしますね。

健吉: その通りじゃ。昔は両替商とか、質屋なんか防犯のために、しっかりとした太い格子を設置しとったんじゃ。しかも、縦格子の中に横の棧木を通して作とったんじゃ。昔の大工や建具職人は丁寧な仕事をしたんじゃ。

伝太郎: 細い格子も、そんな細工をやってたんですね。

健吉: そうそう。日本の格子の歴史で言うたら、だんだんと格子を付けるのがはやりだと、各家のこだわりが出て、デザインするようになったんじゃ。初期の頃は全面的格子じゃったが、徐々に親子格子になったと言われとる。宮島も同じ歴史じゃと思うのお。



細め格子  
(全面)

もみじ: あらそうなの。今度はよく観察してみようかしら。なんだか自分の町がますます楽しいものに感じてきたわ。

【次回は腕木・出桁のデザイン】

## 今昔写真を見比べて

右の写真は昭和30年代の厳島神社入口である。厳島神社は国宝に指定され、すべてが変化なく来たと感じていたが、よく見ると国宝以外のところには若干の変化がみられる。下は現在の写真であるが、受付の建物の建具や壁面に違いがある。また、右手の石燈籠の後ろにある松が成長して太くなっているのがみられる。その松のすぐそばに、現在は照明柱があるが、以前には見られない。

背景の木立の間にはホテルと思われる建物がわずかに見られるようになった。立て看板も増えるなど観光地化が進んだことが写真からも見て取れる。



**ご連絡**  
お待ちしております

### 宮島まちなみの会【会員募集】

宮島の伝統的な町家やまちなみに興味をお持ちの方、古民家の維持管理に苦慮され、情報共有されたい方、町家を復元したい方など、会員同士で情報交換をしませんか。市からもいろいろなお得情報を提供します。維持管理にあたっては、古民家に詳しい資格を持ったヘリテージマネージャーの紹介もできますので、ぜひご加入ください。

現在、島内・島外合わせて25名の方に会員登録をいただいています。問い合わせは、左下の都市計画課まで連絡して下さい。



### 建物改修の補助事業【令和3年度の希望者募集】

来年度（令和3年度）の修理・修景等を行う方は補助金を活用できます。市に相談してください。

補助対象：①特定物件として保存計画に登録されている建物の外観を復元する修理工事 ②伝建区域内にある①以外の建物の外観を古い町並みに合わせた新築・改修工事

応募締切：令和2年5月29日

その他：令和4年度以降の工事を検討している方もご相談ください。

まちなみ通信 No.12（令和2年5月1日）発行

廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

令和2年6月1日号

島野伝太郎一家の

# まちなみ通信 No.13

～出桁・腕木のデザイン～



もみじ：先月、格子のデザインの話聞いてから、町家を注意して見ると、本当にすごくてくさんのデザインがあることに驚いたわ。

伝太郎：そうだね。こうやって見てくるとそれぞれの家の歴史が知りたくなってくるね。

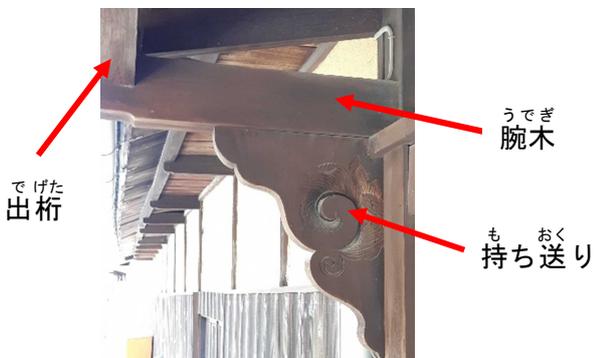
もみじ：お父さんの家は代々大工系の家らしいから、ちょっとデザインが細かいわね。

伝太郎：そうだね。<sup>のき</sup>軒の下にある物も面白いデザインだね。

建吉：何が面白いんじゃ？

もみじ：お父さんおはよう。いつからいるの。

建吉：伝太郎君のさっきの話は、<sup>うでぎ</sup>腕木と<sup>でげた</sup>出桁のことじゃろう。ええところに気がついたのお。



伝太郎：格子を見ていると、その上にある腕木っていうんですか。デザインがいろいろあるなと思って。お父さんのところは凝ってますよね。

建吉：島内じゃあ、凝っとるほうじゃろう。

伝太郎：もっとすごいのがあるんですか？

健吉：大西町や滝町にりっぱな腕木があるんじゃ。わざわざ見に行ってもええ作品じゃわい。



もみじ：そんなにすごいのか？

建吉：わしが見た中じゃあ、あれほどのもんは、そ

うはないで。あれはええのお。

伝太郎：単純な形の物もあるけど、どんな役割があるんですか？

建吉：腕木は底を支えるための構造材じゃが、昔の大工が少し装飾をしたんじゃろう。だんだん凝ってきて、あそこまでの装飾をやったんじゃな。宮島の大工はたいしたもんよ。

伝太郎：曲がっている物もあるけど、構造的には大丈夫ですかね？

建吉：曲がっておってもそれなりの太さがあるじゃろお。通常は問題ないのお。

伝太郎：腕木の下に、別の支える物が付いているところがあるけど、あれも腕木ですか？



健吉：よう見とるのお。あれは「<sup>もち</sup>もち送り」という名前がついとる。腕木を更に支える役割があるんじゃが、中には装飾的な物もあるのお。

もみじ：へえ～、町家って見どころ満載ねえ。

伝太郎：格子に腕木、もち送りかあ。お父さん、外観の特徴はもう無いですか。

もみじ：そんなもんじゃないの。

健吉：お前は住んどった家のことを、何にも知らんのじゃのお。木製の手摺り、玄関扉の大戸、<sup>おおど</sup>おどすり上げ戸、こけら葺き屋根、建具のデザイン、まだまだあるぞ。一度に言うてもわからんじゃろうけえ、ちょっとずつ話してやるわい。

もみじ：わあ～、長くなりそお～。

【次回は手摺りのデザイン】

## 今昔写真を見比べて



上の写真は昭和30年代の下西連町しもさいれんから上西連町かみさいれんを見たところである。右端の手前に写っている電柱が今もそのまま残っている。左手の家並みは平屋が多く、軒の高さがほぼ揃っていた。木製格子こうしや漆喰壁しっくいかべが多く残っている。

左の写真は現在である。空き地が増えており、家並みが揃わなくなってきた。右手の家並みの中央辺りに白壁の蔵が見える。(漆喰壁は途中で補修されている) 町家の中の蔵は存在感がある。

道路は現在アスファルト舗装されているが、上の写真では土のままに見える。下水道は未整備で、雨樋あまどいの雨水はそのまま道路に出ていたようだ。

### 伝建補助を受けた方からの事業者の感想【白蟻駆除】

私は昨年度、廿日市市伝統的建造物群保存地区補助金を活用しシロアリの駆除を行いました。毎年、5月頃になると羽アリが発生していましたが、床下や柱、土壌にも薬剤の注入や散布を行っていただき安心できました。このたびは補助を受けることができとても助かりました。今後もこの家と町並みを守っていきたいと思います。(T.S)

### 伝統的な建物の保存にご協力をお願いします

伝建制度には、いくつかの支援策があります。特定物件候補の所有者の皆様、協力をお願いします。

まちなみ通信 No.13 (令和2年6月1日) 発行

廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

### 伝建まちづくりなどの相談ごとを受け付けます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出を自粛していると、ストレスがたまってきます。誰かに何かを話していると、なんとなくスッキリすることもありますよね。答えが出ないこともあるかもしれませんが、私たち職員が相談ごとをお聞きします。左下の連絡先へお願いします。島内へも出かけて行きますので、姿を見たら声を掛けて下さい。(マスクをしているのでわかりにくいかもしれませんが……) 都市計画課歴史まちなみ推進係

令和2年7月1日号

島野伝太郎一家の

# まちなみ通信 No.14

～手摺りのデザイン～



うみ：暑くなってきたわねえ。梅雨入りしたから空気がジメジメして、気持ちが晴れないわ。

健吉：今年の夏も猛暑なんかのお。昔は2階の手摺りに座っとったら、風が気持ちよかったのに、だんだん手摺りも減りよるのお。

みらい：え～、エアコンの方が気持ちいいよお～。

伝太郎：昔はこんなに猛暑じゃ無かったからね。

うみ：そうねえ。みらいちゃんにはわからないかもしれないわね。夏でも風が吹くと、特に2階の手摺りに座るといい気持ちだったわ。

みらい：おじいちゃんちの手摺りは、座ってもいいの。落ちない？

健吉：ちゃんと管理しとるけえ、大丈夫じゃ。昔のままのデザインでええじゃろう。



うみ：みらいちゃん気をつけて座るのよ。

みらい：は～い。わあ、風が気持ちいい。

伝太郎：お義父さん、手摺りのデザインは、いろいろあるんですか。

健吉：雲形とか、幾何学模様とか、手の込んだデザインがいくつかあったが、少のおなったのお。



伝太郎：雲形はすごいですね。

うみ：でもね、みんなが2階に手摺りをしていたわけじゃ無いんでしょ。

健吉：そうじゃ。2階の手摺りはそもそも普通に2階建てを建てる時に設置したもんじゃ。

伝太郎：普通に2階建て？

健吉：わかりにくかったのお。昔はつし2階と言うて、天井の低い窓の小さい部屋を作って2階にしとったんじゃ。その場合には窓に格子をつけて外は見えにくくしとった。中にはその格子の



上を切り取って、下半分を手摺りのように利用した家も数件ほど残っとる。

伝太郎：そう言われると、2階の手摺りに格子のような造りの家がありますが、2階が少し低いです。あれって、つし2階ですか？

健吉：おそらくそうじゃろう。伝太郎君もだんだん、宮島の町家の見方がわかってきたのお。

みらい：お父さんすご～い。おじいちゃんに誉められちゃったね。

健吉：ほかにも特徴的なのが、濡れ縁じゃったところに手摺りをつけたも



んじゃ。今はほとんどガラス窓を設置しとるけえ、手摺りはその内側にあって見えにくいのお。

みらい：友達のおうちの2階は、窓の内側に手摺りがあって、座れないよ。

健吉：手摺りのところは、廊下になっとるじゃろう。

みらい：うん、廊下になってる。エアコンがあって気持ちいいよ。

健吉：う～ん。この猛暑じゃあ、風情はエアコンに勝てんかのお。

【次回は軒裏のデザイン】

## 保存事業施工の前後



### 寺澤邸（三國屋）

昭和初期に建築された中江町に建つ平屋の町家です。

外観の全体を改修しました。屋根瓦の葺き替えに際しては、通り側には使用可能な古い瓦を再利用し、その他は新しい瓦で施工しました。正面の壁は漆喰と土壁で復原し、側面は杉板張りとなりました。玄関扉は木製建具を新設しましたがデザインは元のままとなっています。出格子は細部を補修しベンガラ塗装で復原しています。

伝建保存事業の初年度の代表事例となりました。



### 宮郷邸（ギャラリー宮郷）

18世紀中期に建築された町家通りに建つ、つし2階の建物です。元は杓子間屋でしたが、現在はギャラリー兼店舗として利用されています。

1階部分の庇を板庇に復原しました。以前も板庇の形態はしていましたが、金属板葺きとなっていたり、垂木等で補強されていたりしたためやや重量感がありました。板庇に復原したことで軒先は板しか見えず、かなり軽快なイメージになりました。部分的な修理でしたが、全体的に昔の姿を留めているため良い復原になりました。五重塔の撮影スポットとしての魅力もアップしました。

### 観光客数V字回復を願って（共に頑張りましょう）

「重伝建地区」は観光資源としての活用が期待できます。他の地区では大きな観光資源になっていません。国への重伝建選定の申出には、伝統的建築物所有者の保存同意が必要です。ご協力をお願いします。

まちなみ通信 No.14（令和2年7月1日）発行  
廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係  
TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

### 募集

#### 伝建の内部改修補助金交付制度があります

保存の同意をいただいている伝統的建築物所有者を対象に、内部改修に補助金が交付できる制度があります。観光庁の補助制度で、宿泊・体験施設などへの改修などの条件があります。今年度中に工事が完了見込みの方で、まだ工事に着手していない方は応募ができますので、都市計画課までご連絡ください。

応募締切：8月31日（月）

令和2年8月1日号

島野伝太郎一家の

# まちなみ通信 No.15

～軒裏のデザイン～



健吉：今年の梅雨はよお雨が降ったのお。

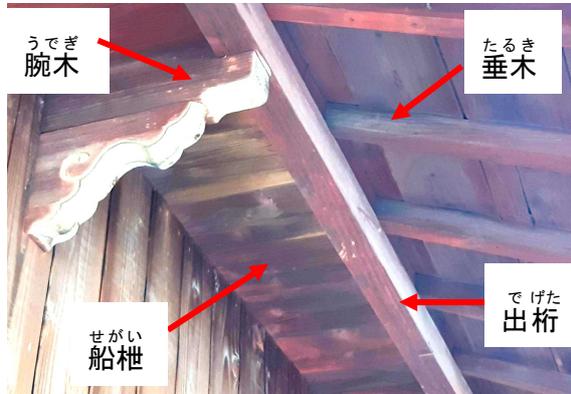
マイク：僕がいたカリフォルニアは、いつもカラッとしていて、梅雨がないので日本に来てびっくりでしたけど、慣れちゃいました。日本の家は軒が長く出て雨に強くしてありますね。

健吉：そうそう。それが特徴じゃが、宮島の町家は更に、腕木や船柁で、丈夫に作ってあるんじゃ。

マイク：えっ、「セガイ」？

みらい：おじいちゃん、「セガイ」って何？

健吉：マイクもまだ知らなんだか。軒裏にある出桁の内側に小さな天井がある。幅が狭くて昔の和船の横についておる櫓をこぐところによく似ておるので、同じ「船柁」という名が付いたんじゃ。



みらい：おもしろ～い。船の名前がお家に付いてるんだあ。

マイク：軒裏って面白いですね。きれいな腕木や持ち送りもあるし。

健吉：そうなんじゃ。軒裏はあんまり注目されるところじゃあない。じゃが、宮島の町家は、軒裏に特徴があつてのお。もう少し注意深く見るとな、屋根垂木と野地板との間に細い木が横に何本もある町家がある。1本ずつや2本ずつもある。あれがまた風情があるもんでのお。

マイク：私、見たことあります。きれいな仕上げだなと思いました。



横木1本



横木2本

健吉：船柁と横木がセットである町家は少ないけえ、そういう町家さがしは、おもしろいかもしれんな。ちょっとマニアックじゃがなあ。

マイク：横木だけの町家もあるんですか。

健吉：これも少ないがあるぞ。

マイク：横木にはどんな役割があるのですか。



健吉：わしも、正

確にはわからんが、腕木や持ち送りと同じように軒先のデザインじゃろう。日本には数寄屋建築という文化があつて、建物のいろんなところに粋な細工をしとる。大工の腕の見せ所じゃのお。今は、軒裏をそのまま見せる建物が少のうなつて、ちょっと寂しいのお。

マイク：数寄屋建築はもしかすると、京都の桂離宮ですか。

健吉：数寄屋建築と言え、桂離宮の書院群が代表的じゃな。行ったことがあるんか。

マイク：日本に来てすぐに行きました。桂離宮に感動して、宮島に来たら普通の民家のデザインがすごくて、もっと感動しました。

健吉：ええことを言うてくれるのお。

みらい：ねえねえ、マイク。さっきの「せがい」さがしに行こうよ。

マイク：いいですね。宮島の魅力探しに行きましょう。

【次回は木製建具です】

## 今昔写真を見比べて



上の写真は、昭和46年頃の町家通り中之町付近です。右端に見える2階の手摺りが変わりなく残っています。その1階には米屋の広告が判別できます。この写真を見ていると、1階部分の板庇がほぼ同じ高さで連続していたことがよくわかります。

左の写真は現在です。2階建ての町家が1軒解体され駐車場に変わっています。他にも空き地が増えつつあり、連続性が無くなってきているのは気がかりです。道路際に何軒かガスボンベやエアコンの室外機が見えますが、昔には無かった新しい生活様式です。管理がしやすく、目立たない工夫ができないものかと苦慮しているところです。

今昔を比較すると、家の形はほとんど変わっていないように見えます。みんなが協力して復元できれば、風情ある昔のまちなみが戻ってくるのではないかと、密かに期待しておりますが…。

### 令和3年度の伝建補助の事業計画受付中

来年度に補助金の交付を受けて保存事業を行う予定のある方は、具体的な事業計画を記載した計画書を、都市計画課へ提出して下さい。また、既に申出書を提出している方も、具体的な計画書が必要ですので、計画図面・見積書を添付して提出して下さい。応募者多数の場合は、事業内容を審査し、優先度を判断します。(提出された方全員が、補助金交付を受けられるとは限りません。あらかじめご了承下さい)  
応募締切：8月20日(木)

### 塗装調査にご協力をお願いします

今年度、伝建地区内の建物の塗装状況の調査を、伝統的な塗装の専門家が行います。必要に応じてサンプルの採取をお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。ご不明な点がございましたら、後日でもよいので、都市計画課までご連絡下さい。

まちなみ通信 No.15 (令和2年8月1日) 発行

廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

令和2年9月1日号

島野伝太郎一家の

# まちなみ通信 No.16

～木製建具（窓）のデザイン～



**伝太郎:** 最近在宅勤務が増えているから、島内の様子がよく見えるようになってきたよ。

**もみじ:** 私の働いている幼稚園でも、保護者が家にいることが多くなって、子供たちはうれしそうに話してくれるわ。

**うみ:** 私は一日中、お店に出ているから、あまり生活は変わらないけど。

**伝太郎:** この前お義父さんが言った軒裏を、マイクと散歩中に見たけど、びっくりした。こんなにいろんなデザインがあったなんて。

**マイク:** こんにちは。僕のことウワサしてましたか。

**伝太郎:** すごいタイミングだな。この前一緒に散歩中に見た、軒裏のことを話してたところだ。

**マイク:** そうでしたか。僕は、木でできた窓も、おもしろいデザインがあって、興味深かったです。



**伝太郎:** マイクはそう言ったね。1階の窓は格子で見えないところが多いけど、2階の窓は

興味深かったね。

**マイク:** そうです。今は、大きなガラスでアルミサッシが多いけど、昔の窓は細かく仕切りがあって、形もいろいろでした。

**伝太郎:** 中にはめてあるガラスも、今は使われていないスリガラスだと思うけど、懐かしいデザインだったよ。貴重品が残っているね。



**もみじ:** あら、あなたもだいぶお父さんに影響を受けてきたみたいね。

**伝太郎:** そりゃあね、毎回あの調子で熱く語りかけられると、ちょっと散歩中にのぞいてみようかねって思っちゃうよ。

**もみじ:** そうね、私も島育ちだけど、あんなに宮島の魅力を話してもらったこと無かったから、知らずにここまで来たところもあるわね。意外と島外の方が、島の魅力を知っているのかも。

**伝太郎:** 島の人たちはいろいろなことをよく知っているけど、それが魅力的なことだとは気づいていないのかもしれないね。

**マイク:** それは残念なことです。宝の島ですよ。窓の上にある格子のデザインや、大きさの違うガラスの組み合わせのデザインは日本的で美しいです。見せる窓です。



**もみじ:** マイクは、お父さん好きだからねえ。

**マイク:** 健吉さんの大工の手伝い、またしたいです。

**健吉:** なんじゃなんじゃ。わしのウワサをしとったか。マイク、伝建の仕事があるぞ。ちょっと手伝ってくれ。今度のは、木製建具がきれいな家じゃ。やりがいがあるでのお。

**マイク:** ホントですか。うれしいです。

**もみじ:** 私も、宮島の魅力再発見の散歩に出かけようかしら。伝太郎さん、散歩つきあってよ。

【次回は木製玄関扉です】

## 今昔写真を見比べて



上の写真は、昭和38年頃の久保橋付近の商店街です。店の形態は時代と共に変わっているようですが、商売している町並みは同じようです。久保橋はやや斜めに掛け替えられていますが、欄干は同じものを使っています。橋のたもとに施設の案内標識が建っており、多くの観光客が行き交う分岐点としての様子がうかがえます。

建物に目をやると、昔は1階の<sup>ひさし</sup>庇が<sup>いたびさし</sup>板庇です。現在はほとんど、ビニールテントとなっており、維持管理もしやすいものですが、宮島らしい風情のある軽快な板庇が戻ってほしいものです。

### 出前トークで宮島のまちなみを紹介しています

地域の市民センターなどで、宮島の歴史や魅力あるまちなみを紹介しています。下の写真は、先日阿品台市民センターで行った出前トークの様子です。

出前トークの申し込みは、市ホームページをご覧ください。市ホームページは、<http://www.city-miyajima.jp>をご覧ください。市ホームページは、<http://www.city-miyajima.jp>をご覧ください。



### 宮島の町家・町並み再発見ツアー（お知らせ）

#### 第3回「西町を歩く②」

9月13日(日) 9:30～11:00

集合場所：宮島歴史民俗資料館

#### 第4回「東町を歩く②」

9月19日(土) 9:30～11:00

集合場所：宮島市民センター

講師：森保洋之さん（広島工大名誉教授）

宮島の町家・町並みなどの成り立ちから、実感的に見える、今まで語られていない新たな宮島の特長や魅力について、一緒に町歩きしながら楽しく学び、再発見してみませんか。

申込み・問合せ先：宮島観光協会事務局

電話：0829-44-2011

まちなみ通信 No.16（令和2年9月1日）発行

廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999